

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ヨシア（スカイブルー）		公表日		2025年 3月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		個別に合わせた活動の時には集中しやすいように配置したりや全体のミーティング等の時は広く見やすくテーブルを配置するなど工夫して活動しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準の配置に合わせて十分にいます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		クラスはバリアフリーで使いやすく広い窓から明るい部屋となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除に加えて適宜気になる場所を適宜きれいに清潔にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		いろいろな過敏反応を持っている子が複数いるため個別のへや、場所など可能なかぎり工夫して配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		クラス会議で目標を立てて、又クラス会議で実行について振り返っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の評価についてクラス職員で共有して改善点を話し合っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週に1回のsvで話す機会があるのと、クラスを超えて学童マネージャがいつでも話を聞いてくれる体制になっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	受けてません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		当法人では法人全体の研修、毎週の朝研修に加えて部門別、年代別の研修などかなり多数の研修が行われています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		令和7年2月に公表しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		チームでアセスメントを行なって必要な支援を計画として作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		プランの作成には常にクラス会議などで全員話し合い計画を立てています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		クラス全員で共通の意識を持ち支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもの必要な様子をツールなど使用して取りまとめています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインを十分に踏まえて具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		クラス会議等の場でチームで行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に合わせた様々な活動を工夫して行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		子どものアセスメントを行って、個別活動や集団活動を状態に合わせて行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		クラス職員が集まり療育前に必要な事項を打ち合わせています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後は振り返って次の日の支援に生かしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとりながら、日々支援につなげるよう話し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリングを定期的に行なって計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動を行うときにも子供が選べたり意見が反映されるように配慮しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		適した職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要時には様々な関係機関と適宜連携しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校と連携して必要な支援を行っています。 送迎や必要な連絡を適宜行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		子どものアセスメントを充分に行なうために情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象児童がいませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターとの交流研修を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		コロナ禍から減少傾向でしたが現在もあまり積極的に行っていません。	公園等で出会った子供たちと積極的に挨拶しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人から参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		事業所内面談や送迎時に話すなど日頃の保護者との会話を多く持って共通の理解を持つようにはしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		お父さん向けの定期的に行っているパパ会やお母さん向けのCSP研修などがあります。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧に説明するよう行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意向を充分に聴く事を意識して行なっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		充分に説明を行なって同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内面談や送迎時に話すなど日頃の保護者との会話を多く持って共通の理解を持つようになっています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		親同士の交流会など機会があります。兄弟との交流の機会があります。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情マニュアルに沿って丁寧に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		法人のHPに行事や活動など発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		十分に気を付けて取扱いしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		事業所内面談や送迎時に話すなど日頃の保護者との会話を多く持つようになっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを説明するとともに事業所に設置していつでも閲覧できるようにしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定しています。必要な訓練を行なっています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		内服薬についてや病状など必要に応じて確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーに関しては必ず医師の指示書に基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全委員会を中心に必要な研修に参加しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全に関する事を家族に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生したらすぐに報告して再発防止に向けて検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人として虐待防止の研修への参加の場を計画を立てて行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束について事前に子どもや保護者に十分に説明して同意を得ています。		